別紙１

夕張市財政再生計画の変更（平成２２年１２月）の概要

○　本年９月１７日に夕張市の財政再生計画の変更に同意したが、その後に発生した新たな事情に早急に対応するため、財政再生計画に計上した平成２２年度から平成４１年度までの各年度分の歳入・歳出額を変更するもの。

○　変更に伴い必要となる財源については、新たな歳入の確保や歳出の抑制により対応することとしており、財政再生計画の主要部分である計画期間、財政再生の基本方針並びに財政の再生に必要な計画及び歳入又は歳出の増減額については変更はない。

○　財政再生計画の変更への同意は、今回で３回目である。

財政再生計画の歳入・歳出額の変更における主な内容

平成２２年度

１　歳入・歳出の見直し

（１）歳入

国・道支出金（＋５０百万円）、地方債（＋９１百万円）、諸収入（▲４９百万円）、繰越金（＋４２５百万円）により５１７百万円の増

（２）歳出

物件費（＋２２百万円）、維持補修費（＋３百万円）、扶助費（＋３５百万円）、建設事業費（＋９百万円）、繰出金（＋９百万円）、積立金（＋４３７百万円）などにより５１７百万円の増

２　主な変更事項

（１）ＩＣＴを活用した教育振興・連携事業（２８百万円）

デジタル教材・eラーニングシステムを活用することで教育環境の改善を図ることにより、人口減少に伴う中学校の統合により課題となっている統合クラス内の学力格差の是正・教育レベルの向上を図るもの。

（財源）　国庫支出金　２８百万円

（２）障害福祉サービス給付費（３４百万円）

市内に民間の児童デイサービス事業所が新設され、利用者が増加したこと等から、障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービス給付費の増額に対応するもの。

（財源）　国庫支出金　１３百万円、道支出金　６百万円、一般財源　１５百万円

（３）財政調整基金への積立金（４３７百万円）

平成２１年度決算剰余金に係る繰越金（４２５百万円）及び過疎対策事業債（ソフト分）の活用（９１百万円）に伴い生じた一般財源の一部について財政調整基金への積立を行い、職員採用数の見直しに係る後年度の所要経費（総額１６０百万円）、過疎対策事業債（ソフト分）の後年度の元利償還金（総額２９百万円）などの財源を確保するもの。

（財源） 一般財源　４３７百万円

※　上記事業の財源については、国・道支出金や過疎対策事業債（ソフト分）、平成２１年度決算剰余金の一部などにより対応するため、財政再生計画の主要部分である計画期間等への影響はない。

平成２３年度～平成４１年度

１　歳入・歳出の見直し

（１）歳入

繰入金（＋１６０百万円）により１６０百万円の増

（２）歳出

人件費（＋１６０百万円）により１６０百万円の増

２　変更事項

各年度の職員採用数の見直し（１６０百万円）

行政執行体制の維持のため、平成２４年度以降の採用計画から計４名の採用を平成２３年度に前倒すなど、各年度の職員採用数を見直すもの。

（財源） 繰入金（財政調整基金）１６０百万円

※　上記事業の財源については、今回の計画変更により平成２２年度に積み立てる財政調整基金から所要の経費を各年度において取り崩すことより対応するため、財政再生計画の主要部分である計画期間等への影響はない。